

けるが如く、天國の地獄に於けるが如し、一は斷じて爲さざるべからず、他は斷じて爲すべからず、知らずして犯せる罪は、悔い悛めよ、神は之れを許さむ。

物を判するに正義を以てせよ、是れ確かに秀てたる徳にして、神の命ずる所なり。若し事物の判然せざる時は、神に聞て使徒(哥蘭經)に問へ、又は終の日まで待て、是れ事を決するの善法なり。

他人、禮を以て汝に對するときは、汝は一層厚き禮を以て之に接せよ。

汝、人と約せば、己の不利と爲り、又は兩親及親族に利ならずとも、必ず之れを爲せ自己の約を守り、正義より離るゝ勿れ。

善惡は多數決に非ざるなり、惡は多くの人好むと雖も善ならず、内實の價值あるものは是れ善なり。

心より善を爲せ、自己の精神の爲めに善事を爲せ。

妄りに自己の身體を害すること勿れ、自殺は罪の最大なるものなり。

適當なる衣を着せよ、而して飲食せよ、過度は神の憎む所なり。神は不淨の行、不正を嫌ふ。